

# Neighbors Next U26 意識調査結果

## 本調査の目的

「人の無縁化」や「少子高齢化」といった都市の課題が本格化する2020年以降に、住まいの選択を迫られる、そんな若手世代に対し「どんな暮らしがしたい?」「どんな住まいが理想?」「どんなつながりを求めている?」という調査をし、さらに、親世代とのギャップを調べることで、今はまだない未来の暮らし方や住まいのハード面・ソフト面での提案をすることを目的としています。

## 分析方法

- ・各項目の単純集計

(本日はこちらは発表しないので、次回にこうご期待!  
現在分析中です・・・)

- ・データ前処理部分に対して、今回の調査データに対して決定木を構築し、現れた属性を分析に用いる属性選択法を採用。その後、変数を入れ替えながら回帰モデルを構築し、モデルを比較してより当てはまりがよいモデルを選択した。この際、モデルの選択基準としてAICを採用。

実施期間：2014年10月20日～10月30日（全10日間）

対象：18歳以上26歳以下の男女、またその保護者世代

配布数と回収数：10415

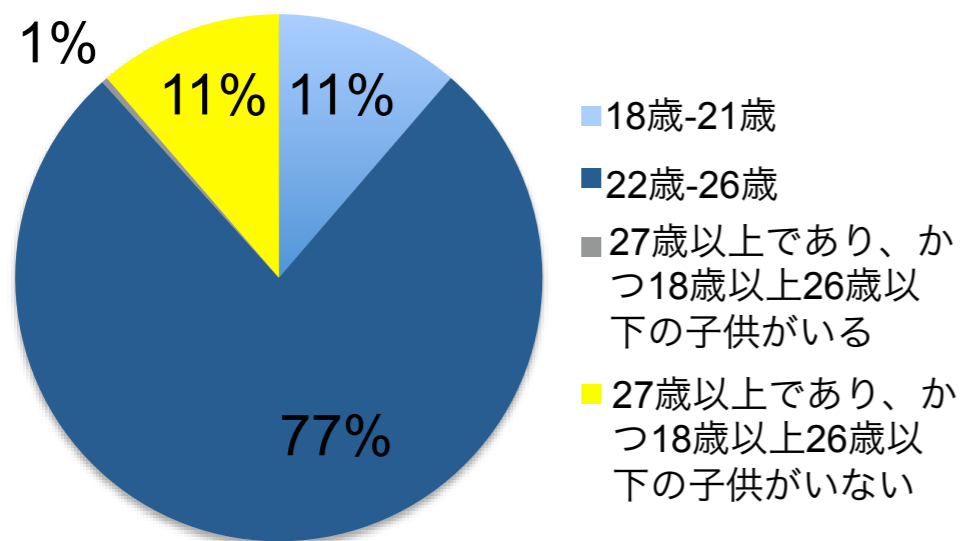
（回収数：u26世代242名 保護者世代32名）

実施方法：ウェブ調査とアンケート用紙の配布。

実施主体：Neighbors Next U26 Project

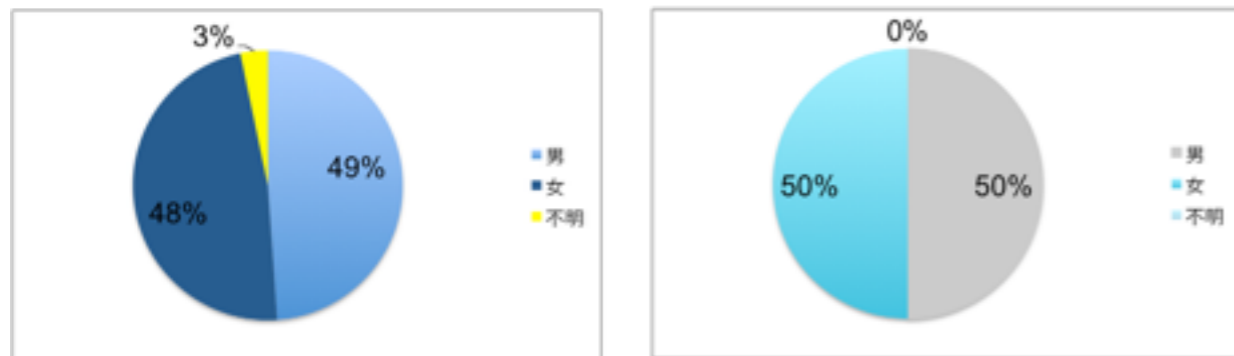
協力：三井不動産レジデンシャル・三井不動産レジデンシャルサービス

# 回答者属性

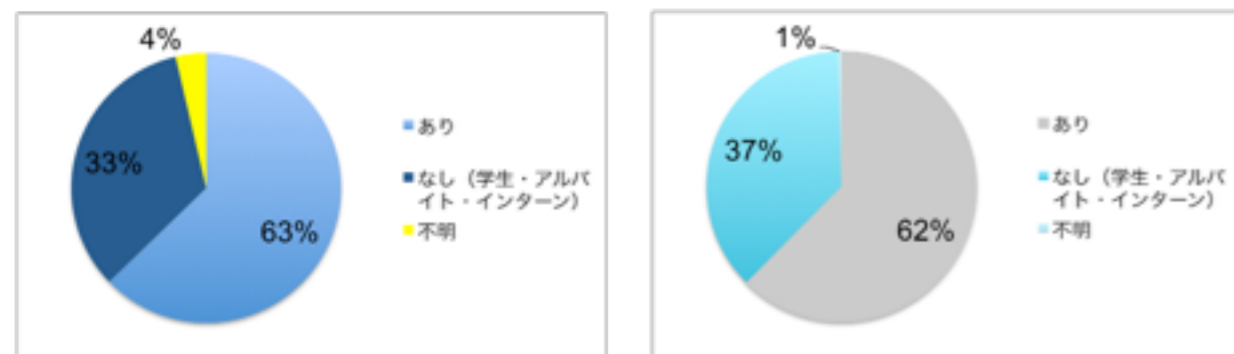


アンケート回答者の年齢

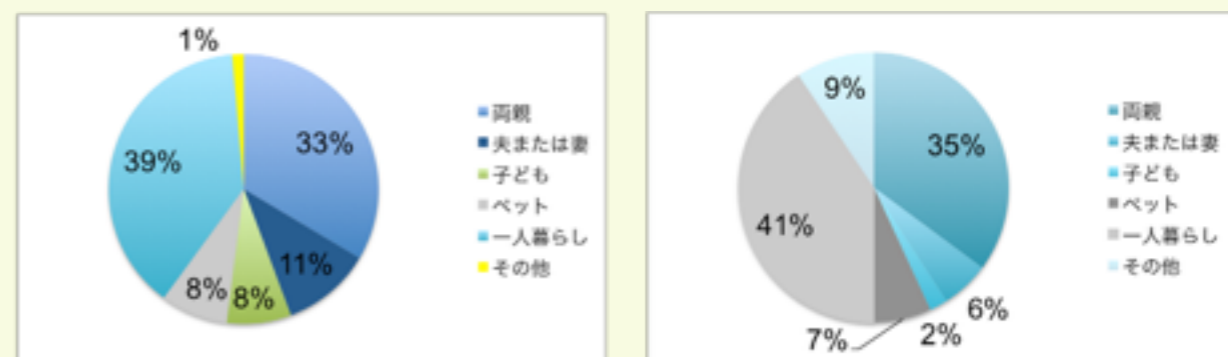
全体 性別 U26



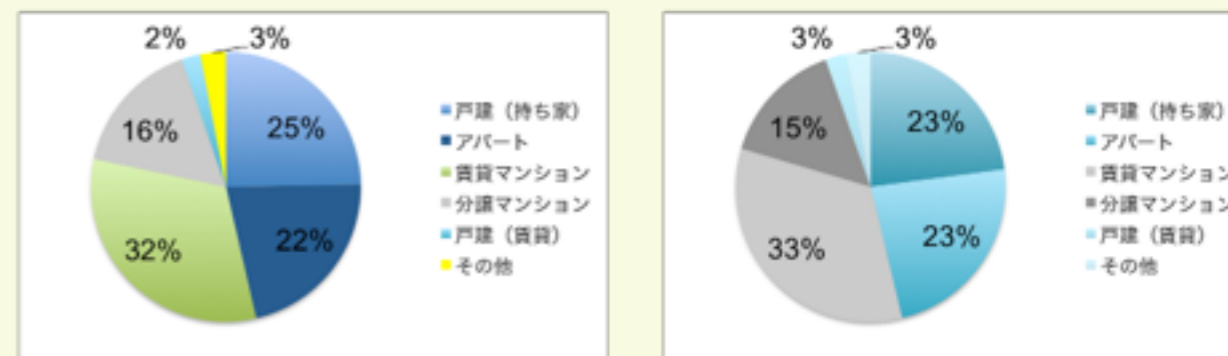
全体 社会人経験 U26



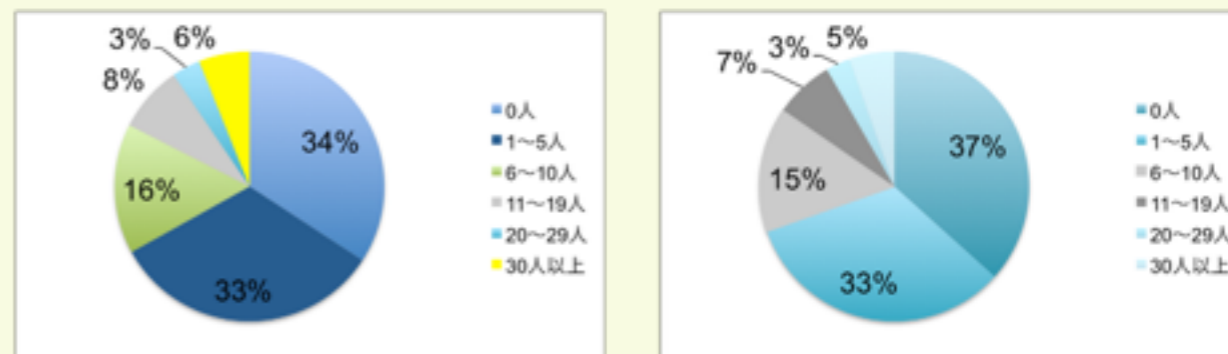
全体 いま一緒に暮らしている人 U26



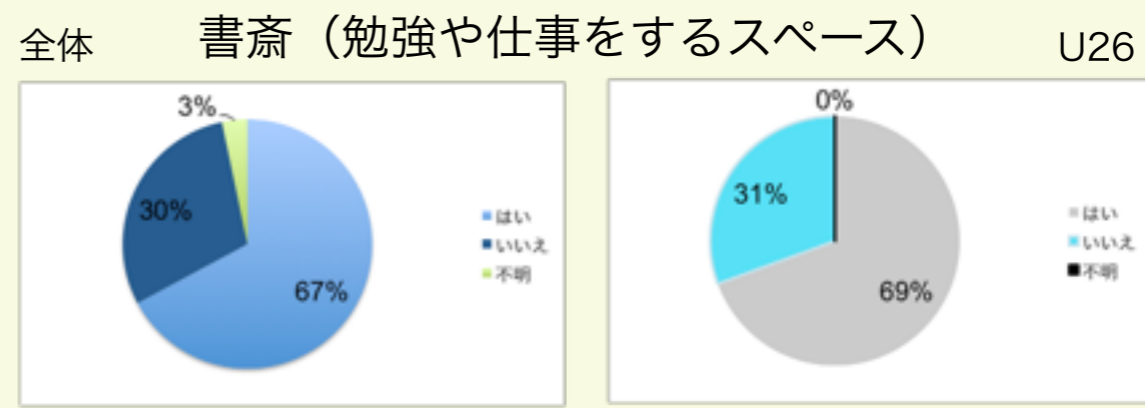
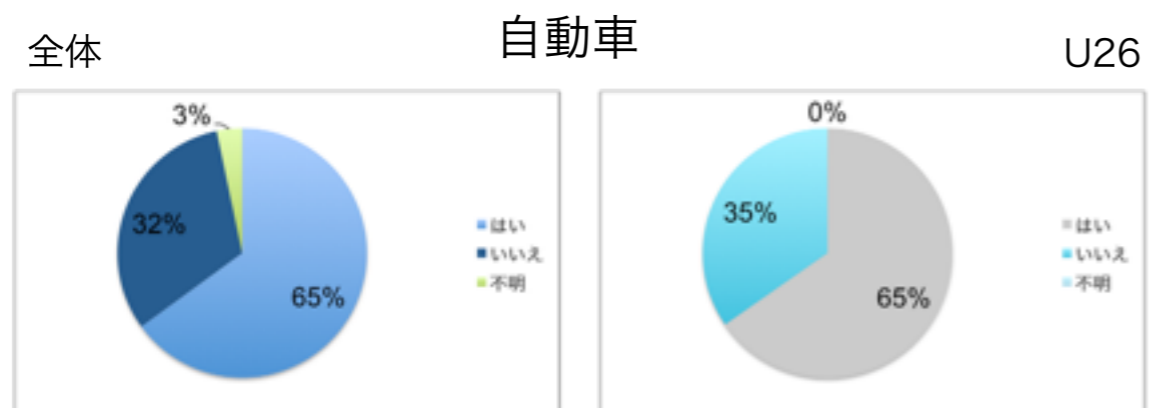
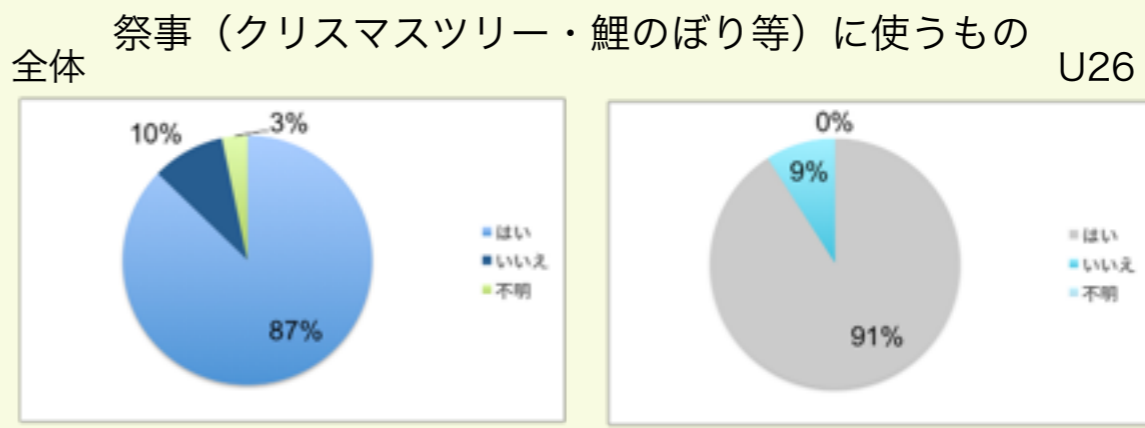
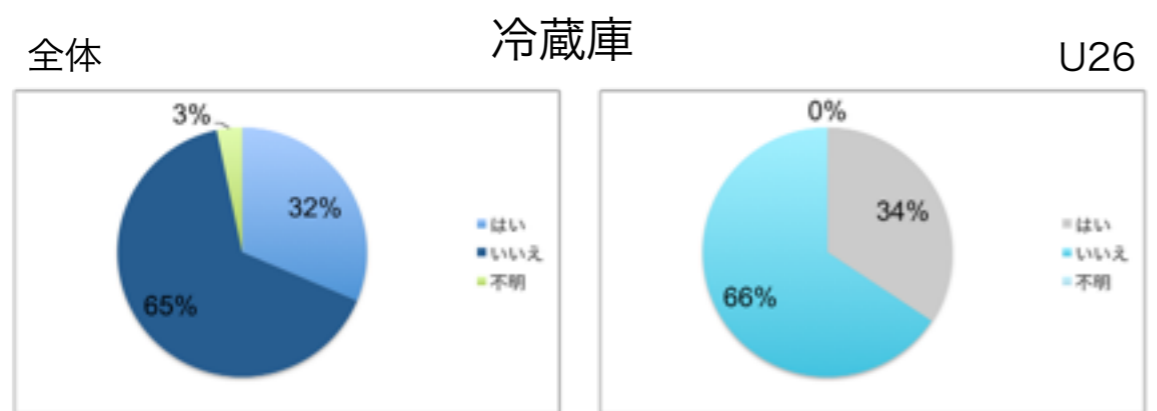
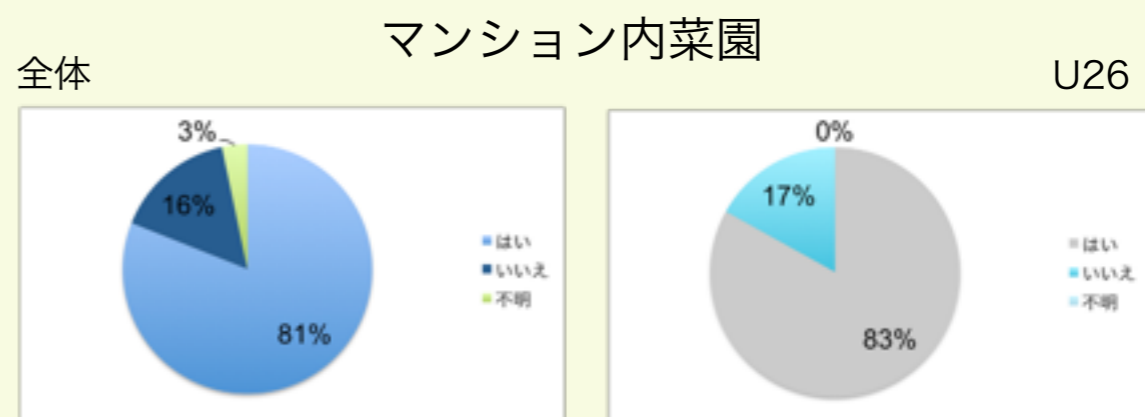
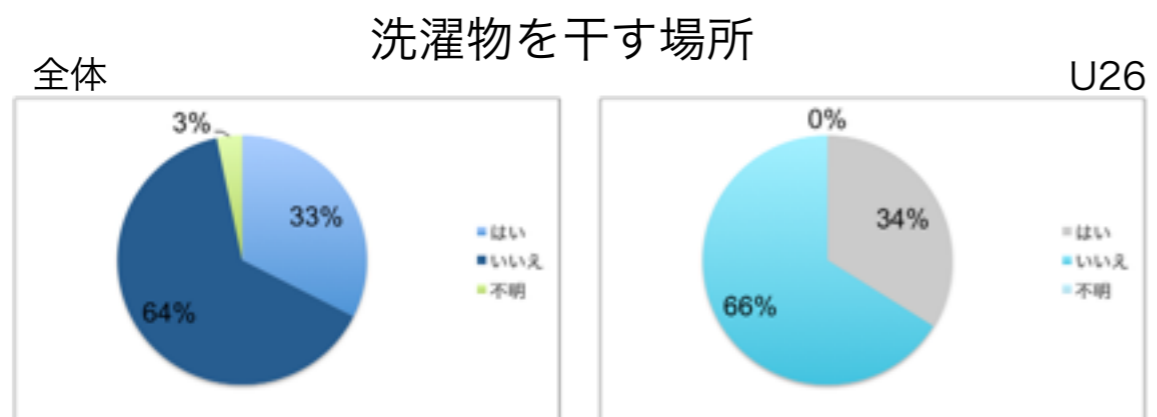
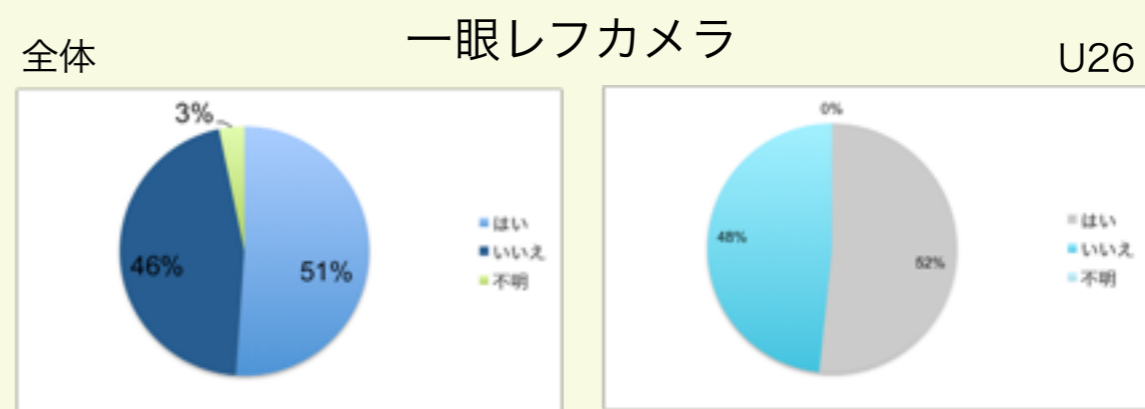
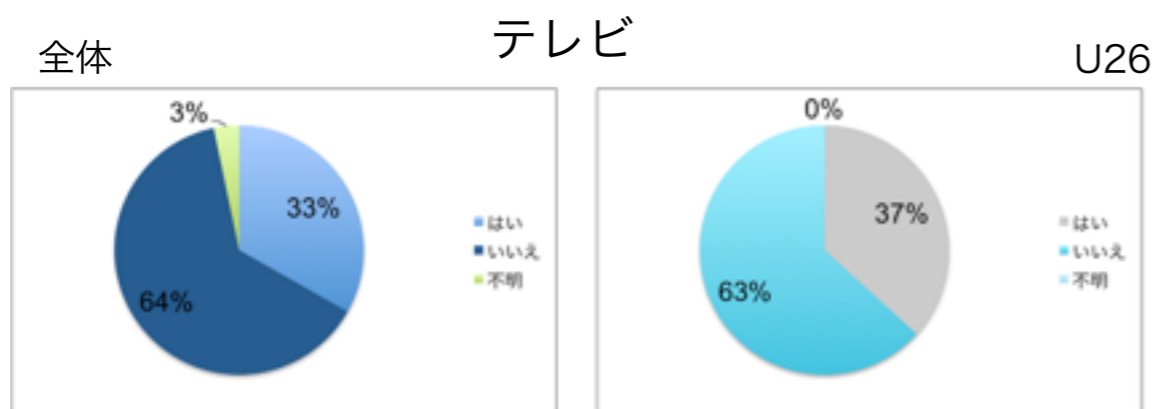
全体 住居形態 U26



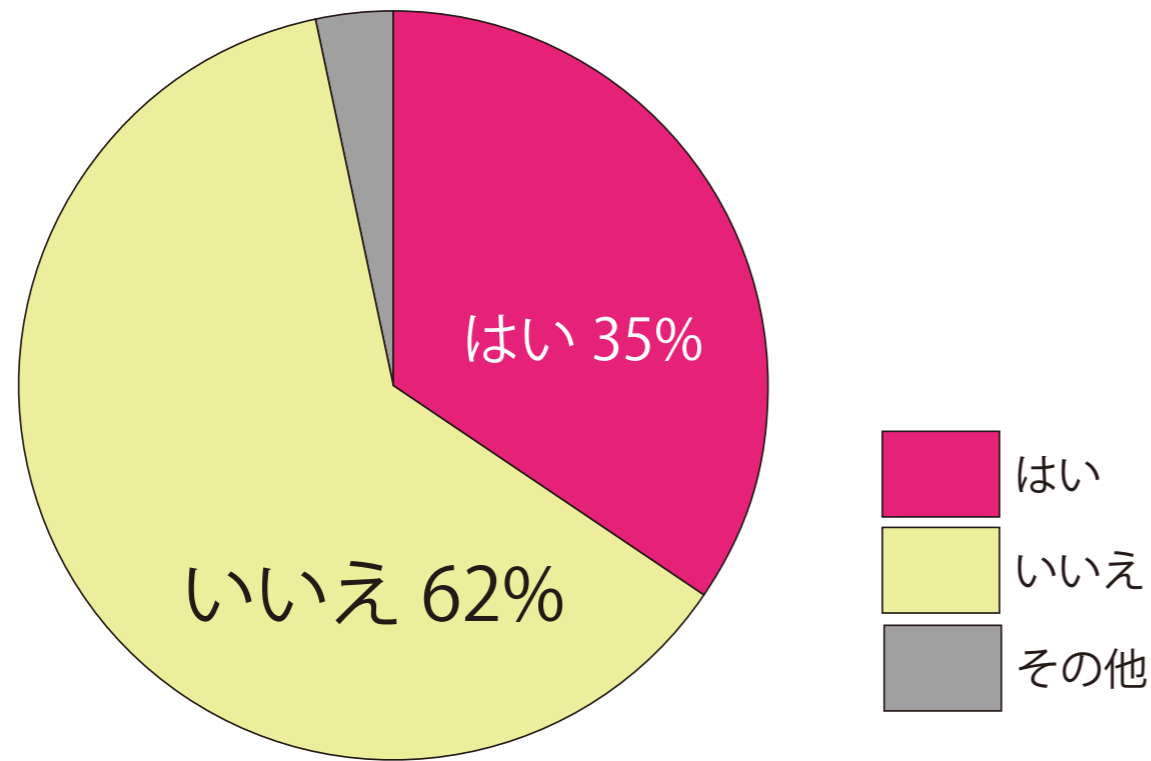
全体 同じ建物内で顔と名前が一致する人の人数 U26



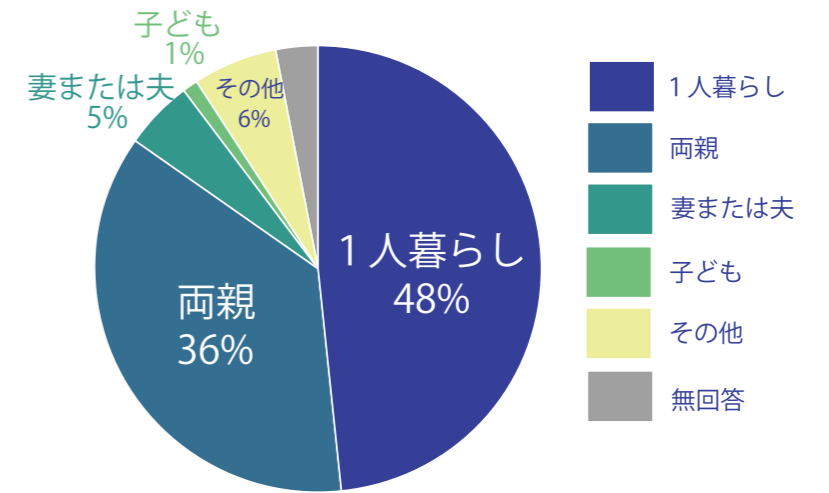
# 同じマンション内でテレビや冷蔵庫などを共有できるか否か・項目別（単純集計結果）



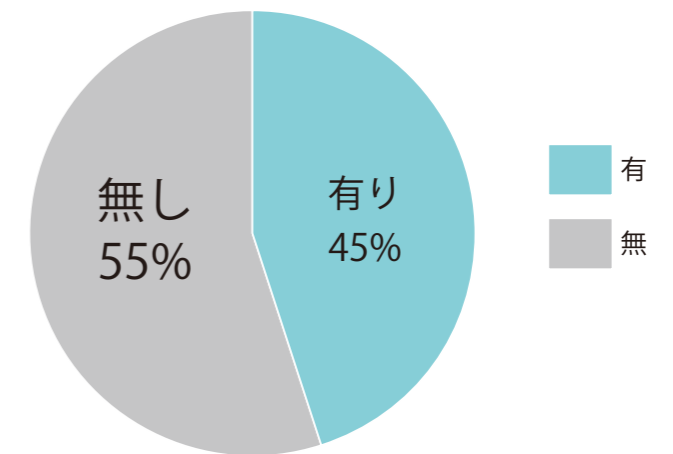
## ■問13：洗濯機を同じマンションで共有することはできますか？



元データ:u26意識調査  
抽出条件:回答者全員



現在一緒に暮らしている人は？



仕事経験の有無

### ■所感

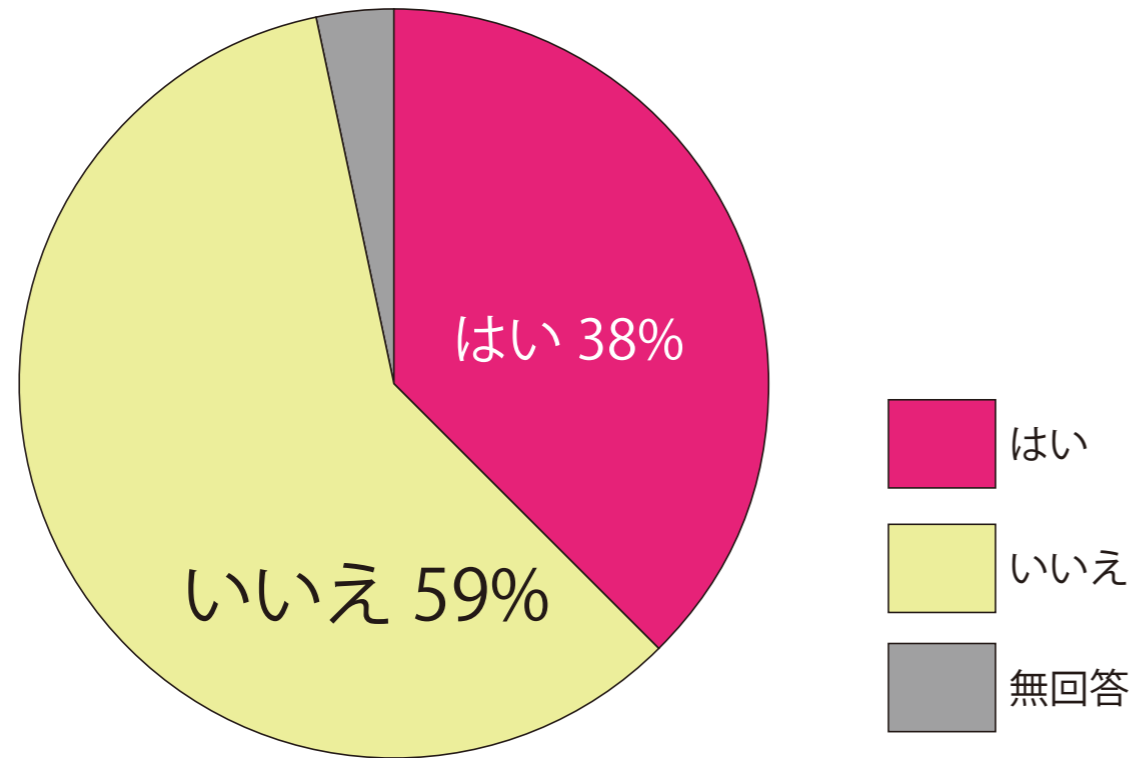
・家族形態がYESの回答には効いていそうだ。

家族のいる回答者では、家庭内の所有意識が強いため、共有への意識も低くなるのか。

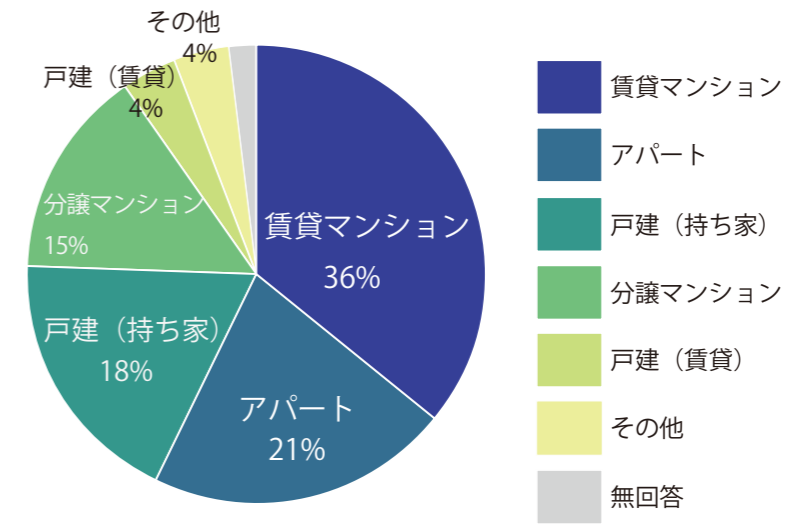
・仕事の有無がYESの回答に効いていそうだ。

仕事をしていることの金銭的余裕が、洗濯機を使用する際に破損するかもしれないこと等のリスクを考えないため効いてくるのか。

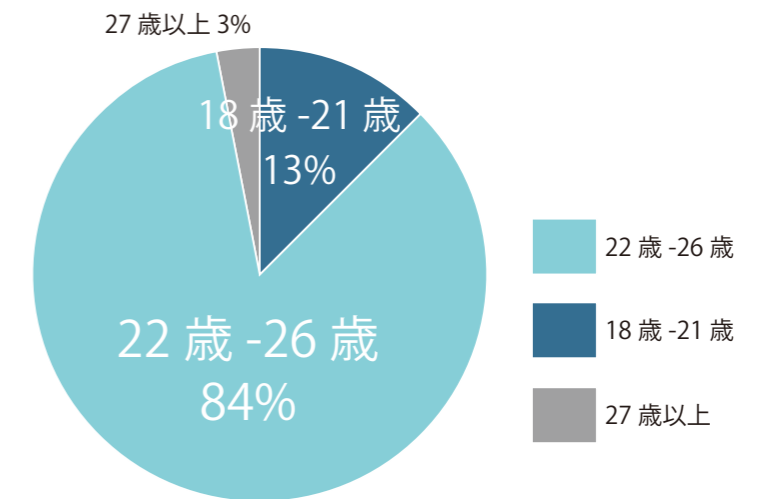
## ■問38：ペットを同じマンションで共有することはできますか？



元データ:u26意識調査  
抽出条件：回答者全員



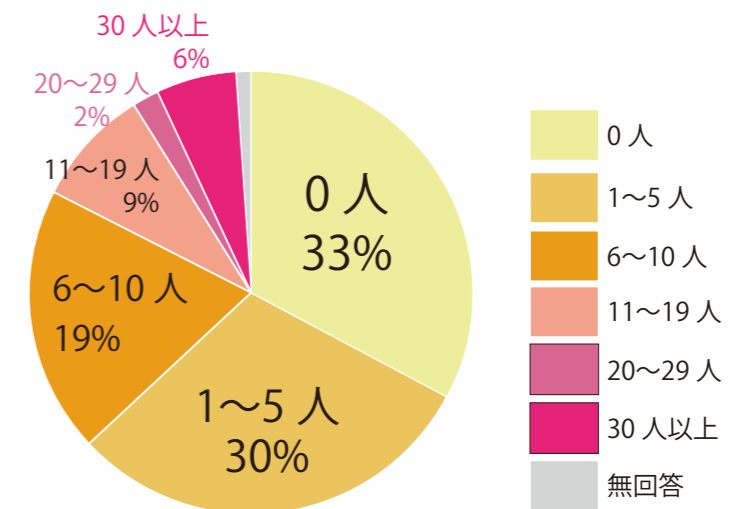
現在の住居形態は？



年齢

### ■所感

戸建てや分譲マンションのように個人の資産に既に住んでいる回答者ではペットを共有で買うことで、資産を汚すことや傷つけ資産価値が減少すると考えため、ペットの共有にNOと回答するのか？



同じマンション内で顔と名前が一致する人数は？

## 分析から少しずつ見えてこようとしていること

- 決定木の結果とロジスティック回帰分析の結果を見ると、変数の組み合わせの効果が強く出ていそうだ
- シェア意識の醸成ステップの分析が実施できそうだ
- 27歳以上のサンプル数が少ないため一概に比較検討できないため、今後も継続的に問をしばって検討していきたい